

VPNとVDIに代わる ゼロトラストブラウザとは？

課題と解決策をご紹介します



株式会社レコモット

◆◆ moconavi

INTRODUCTION

現在、業種・業態を問わず、多くの企業・団体がセキュリティ被害に遭っています。

総務省の調査によると、過去1年間で情報通信ネットワークの利用時に何らかのセキュリティ被害を経験した企業は53.8%※1に上り、半数以上を占めています。もはや対岸の火事とは言えない状況です。

これまでは、セキュリティ対策としてVPN※2やVDI※3が運用されてきましたが、クラウドが主流となってきた現在のビジネス環境には適応できず、企業の境界内だけを保護するセキュリティ対策だけでは不十分です。

そこで注目されているのが「ゼロトラスト」という概念であり、それを実現する手段として注目されているのが「ゼロトラストブラウザ」です。

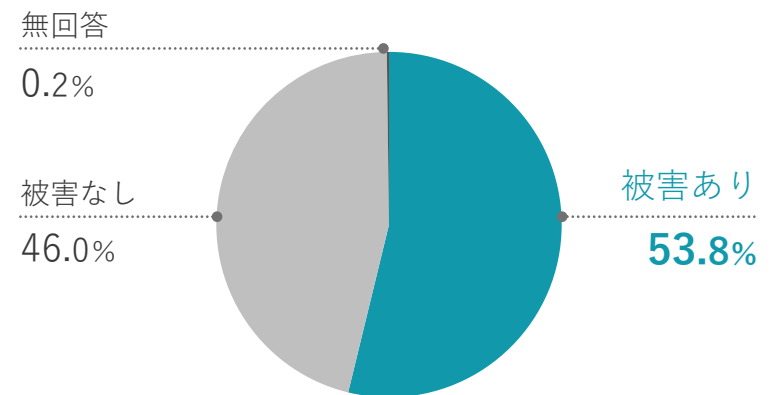
本書では、VPNとVDIの課題を解決に導く「ゼロトラストブラウザ」について紹介します。

※1・・・コンピュータウイルスへの感染や不正アクセス、スパムメールの中継利用・踏み台などを指す。

※2・・・VPN (Virtual Private Network)：仮想プライベートネットワークのことを指し、2つの異なるネットワークの間で仮想的にプライベートなネットワーク接続を構築する技術のこと。

※3・・・VDI (Virtual Desktop Infrastructure)：デスクトップ仮想化のことを指し、サーバー上にデスクトップ環境を構築する仕組みのこと。

情報通信ネットワークの利用の際に発生したセキュリティ被害



半数以上が何らかの「セキュリティ被害」があったと回答

出典：総務省『通信利用動向調査報告書』

INDEX

1	ゼロトラスト・セキュリティとは？	・・・	4
	境界型防御の限界とゼロトラストの範囲	・・・	5
	境界型セキュリティモデルの課題	・・・	6
	VPNが抱える課題	・・・	7
	VDIが抱える課題	・・・	8
	まとめ	・・・	9
2	ゼロトラスト実現をサポートするソリューション	・・・	10
	クラウドゲートウェイサービス『moconavi』とは？	・・・	11
	社内PCからセキュアにクラウドアクセスを実現！	・・・	12
	ゼロトラストなセキュアブラウザ『mococho』とは？	・・・	13
	Officeファイルの編集も安心	・・・	14
	トライアル・サポート体制のご紹介	・・・	15
3	会社概要	・・・	16
4	お問い合わせ	・・・	17



ZERO TRUST

ゼロトラスト・セキュリティ とは？



- 境界型防御の限界とゼロトラストの範囲
- 境界型セキュリティモデルの課題
- VPNが抱える課題
- VDIが抱える課題
- まとめ

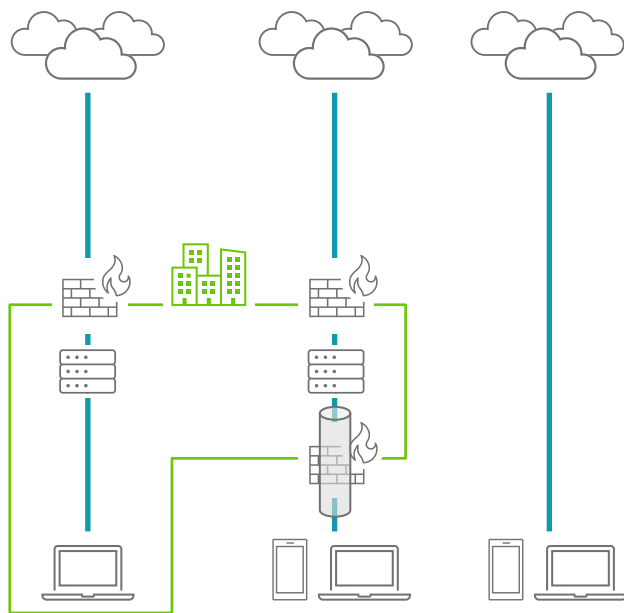
境界型防御の限界とゼロトラストの範囲

従来の境界型防御では企業や組織のネットワークの境界を守ることに重点を置いたものです。

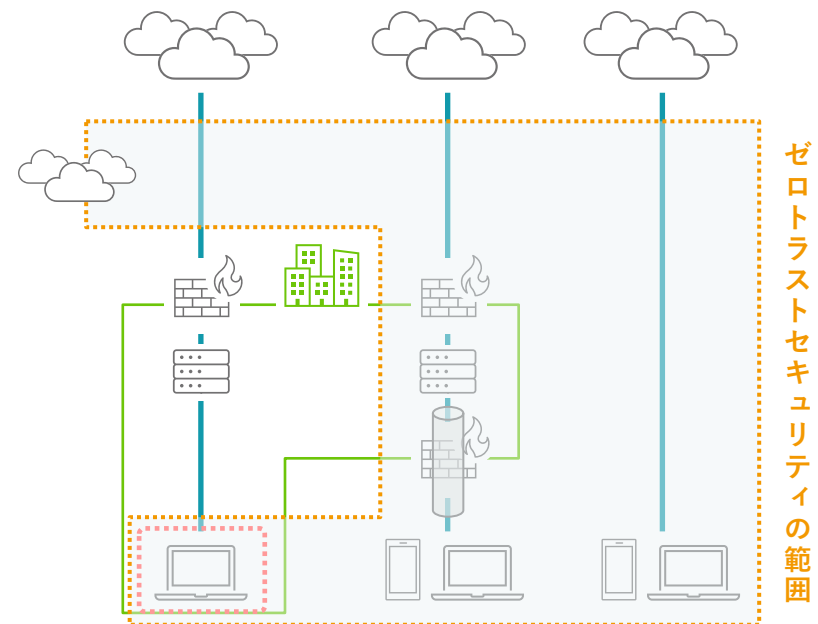
一方で、ゼロトラストは内部、外部にかかわらず、すべての端末からのアクセスを信用せず、アクセスするたびに認証を行います。

従来の境界型防御との違い

クラウドの普及を背景に境界が曖昧に
(VPNの脆弱性のセキュリティ要件も背景)



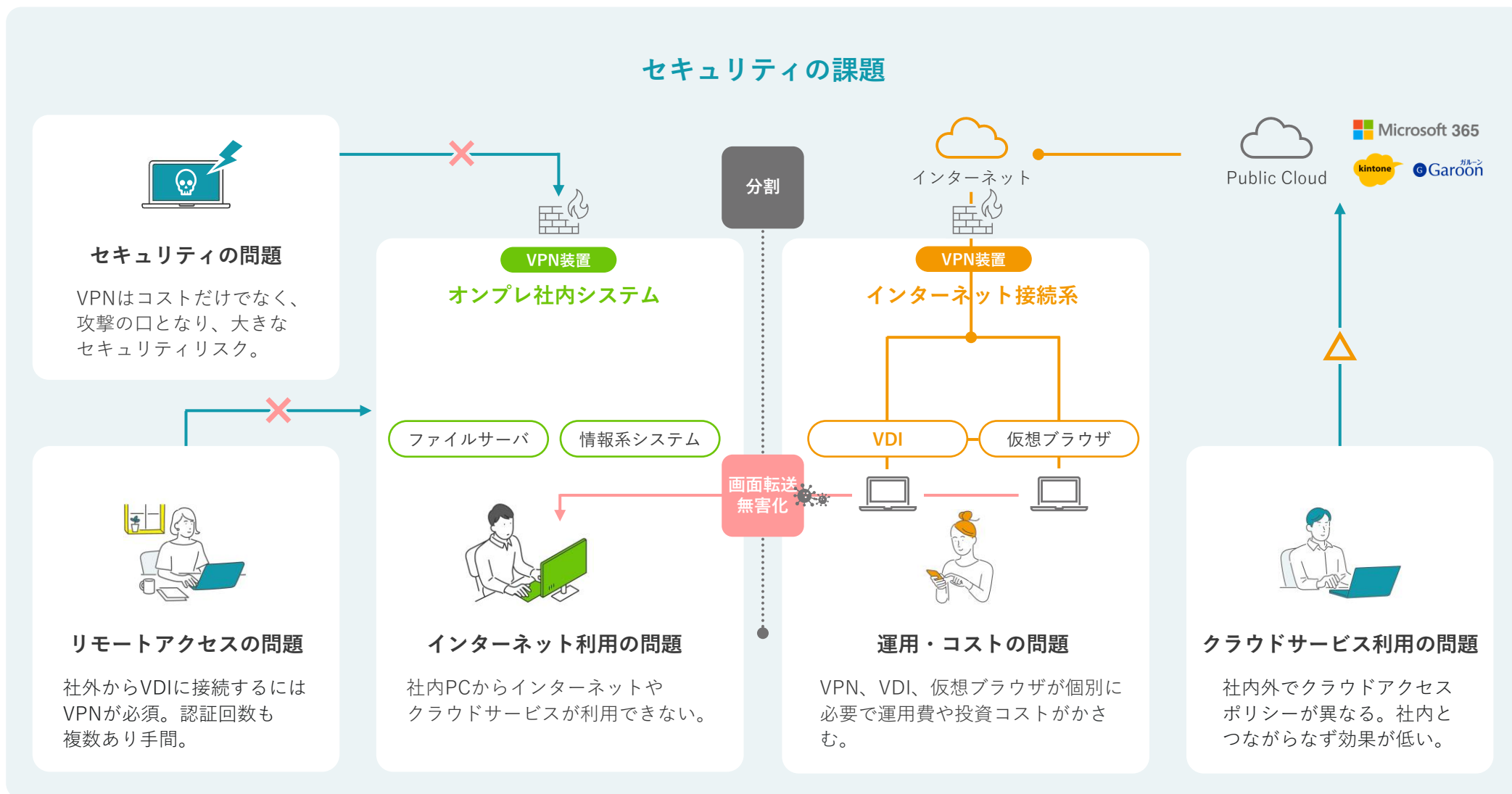
ゼロトラストは全てのロケーションとリソースが対象
(局所的な対応はゼロトラストセキュリティではない！)



境界型セキュリティモデルの課題

セキュリティの課題は、組織・個人によって垣根が存在しています。

境界型セキュリティモデルではVPNやVDIが広く利用されてきましたが、さまざまな課題があります。



VPNが抱える課題

VPNは、企業のセキュリティ対策として採用されていますが、コストが高い他にも、以下のような課題があります。

VPNのよくある課題

課題①

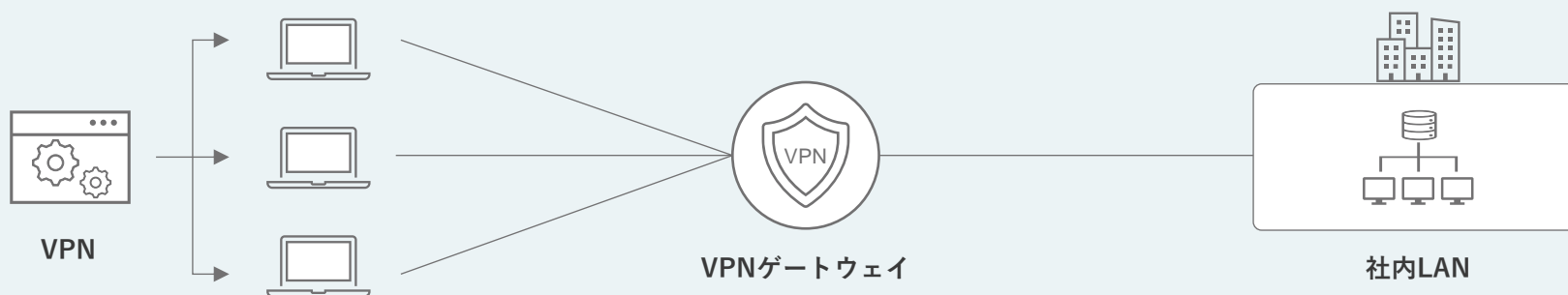
PCにVPNエージェント
の導入が必須

課題②

インターネット側に
ポートが空いている

課題③

負荷集中、キャパシティ
の増減が難しい



VDIが抱える課題

VDIはシンクライアントでセキュリティに定評がある一方、コストや操作性、運用・管理の面で課題があります。

VDIのよくある課題



コスト

- ハードウェア、ソフトウェア費用がかさむ
- 設計や構築のコストがかさむ
- メーカーのM&Aでライセンスコストの大幅増加
- 外部接続時にはVPNが必要



パフォーマンス

- 初期導入時のサイジング設計が重要
- 負荷集中時の冗長化設計が必要
- ネットワークやサーバの負荷によるレスポンス速度が遅い
- 外部接続はVPNに依存する



運用・管理

- VDIの専門知識とスキルが必要となる
- ライセンスやID管理の手間が多い
- サーバ構築の負荷が大きい
- サーバ (VPN・VDI) やネットワークの負荷分散の負担が大きい

VPNやVDIには、セキュリティの脆弱性やコスト、パフォーマンス、運用の面で多くの課題があることも事実です。

普段の業務でブラウザを介した作業が多くなった現在、アクセスする際のデバイスの状態をチェックし、データの操作を監視、コントロールするような“ゼロトラストブラウザ”を利用できることは、有効なアプローチの一つです。

moconavi（モコナビ）は、VPNやVDIを使わずに端末にデータを残さない仕組みのため、端末を紛失した際もリモートワイプ※は不要で、高いセキュリティを維持しつつ、負担を抑えて従業員も管理者も満足度の高い運用が可能です。

安全・快適なゼロトラストを実現するmoconaviについて、次のページから詳しく紹介します。

現状

企業のセキュリティ対策として VPNとVDIを利用する

- セキュリティリスク
- 高コスト
- 煩雑な操作性
- 手間が大きい運用、管理

理想

企業のセキュリティ対策として ゼロトラストブラウザを利用する

- 堅牢なセキュリティ
- 簡単に導入、低コスト
- 直感的な操作性
- 一元管理



※・・・リモートワイプ：スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末に保存されたさまざまなデータを、インターネットを通じて初期化すること

SOLUTION

ゼロトラスト実現をサポートする ソリューション



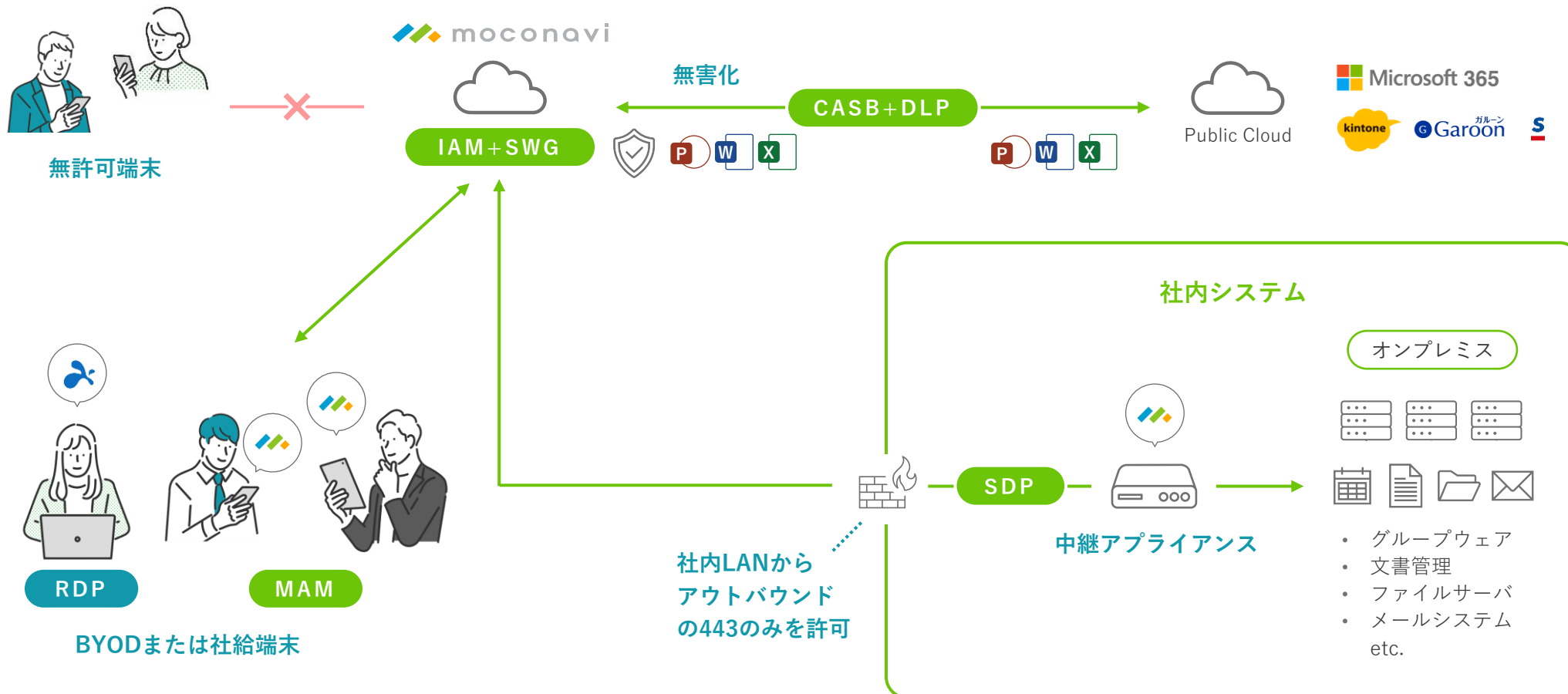
- クラウドゲートウェイサービス『moconavi』とは？
- 社内PCからセキュアにクラウドアクセスを実現！
- ゼロトラストなセキュアブラウザ『mococho』とは？
- Officeファイルの編集も安心
- トライアル・サポート体制のご紹介

クラウドゲートウェイサービス『moconavi』とは？

moconavi（モコナビ）は、ゼロトラストの主要部分のカバレッジを実現しています。

moconaviはVPN機器や証明書は不要で、デバイス認証とIP制限が可能です。

カバー範囲が広く、オンプレミス・クラウドに関わらず自社のゼロトラスト・セキュリティを実現します。

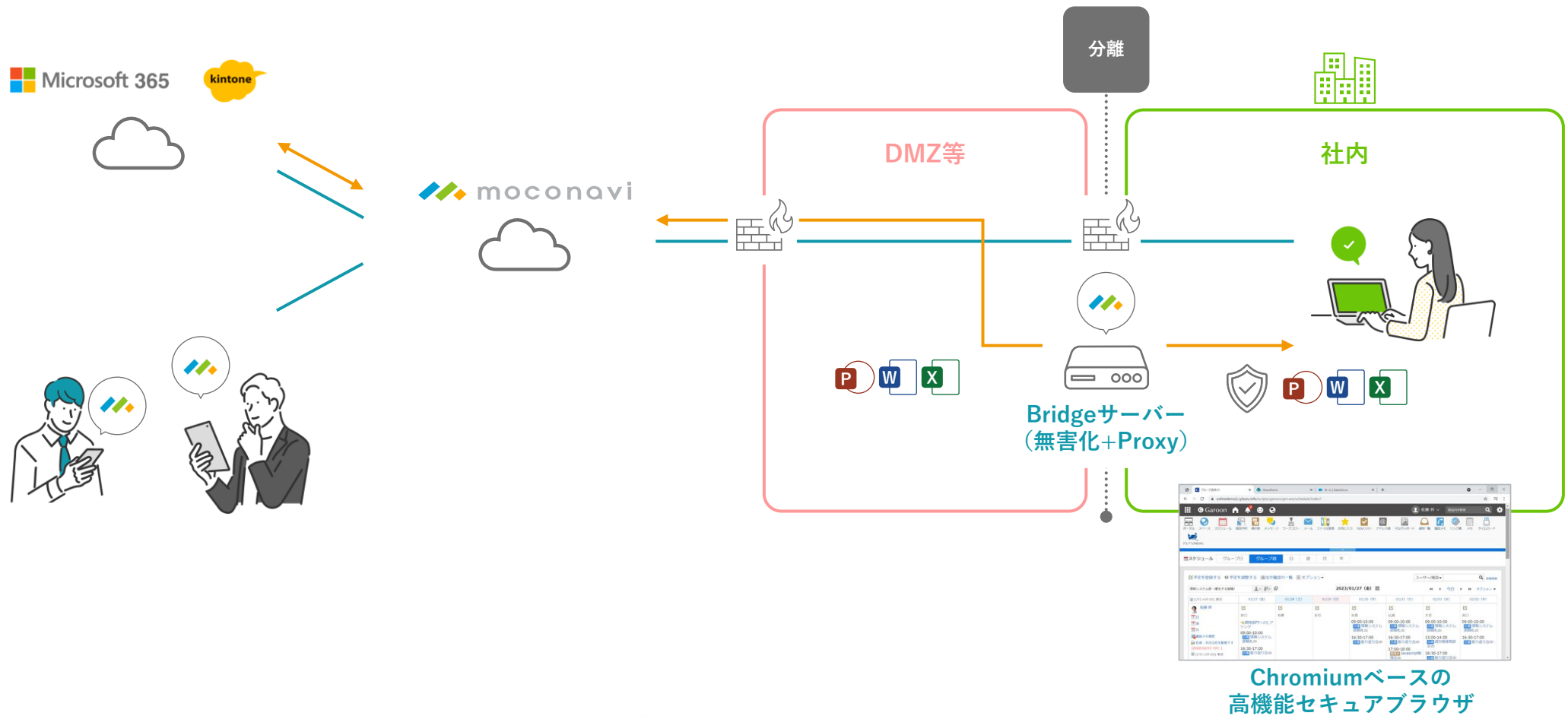


*中継アプライアンスを利用したトライアルについては、レコモットへ個別にお問い合わせください。

社内PCからセキュアにクラウドアクセスを実現！

社内からのクラウドアクセスに「moconavi Bridgeサーバー」による無害化処理と特定URLのみのアクセス制御を行うローカルブレイクアウト（LBO）環境の構築が可能です。

これにより、さまざまなクラウドサービスを利用しながら、ゼロトラストを実現できます。



*Bridgeサーバーを利用したトライアルについては、レコモットへ個別にお問い合わせください。

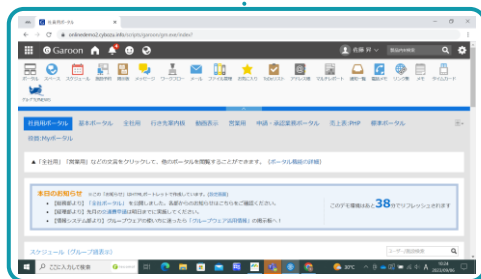
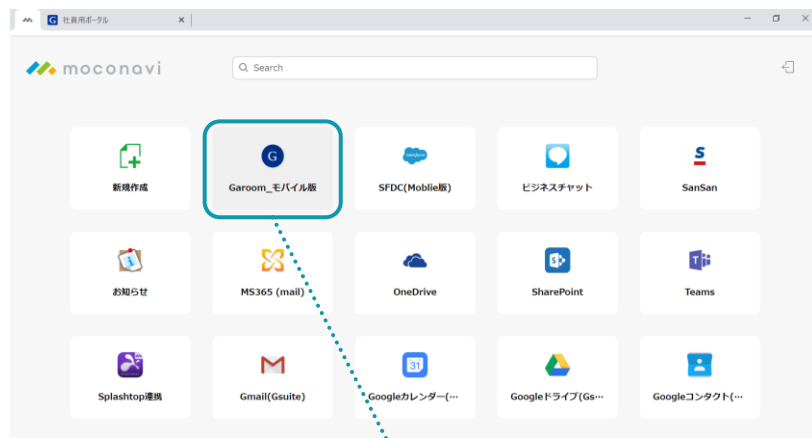
ゼロトラストなセキュアブラウザ『mococho』とは？

mococho（モコクロ）は、moconavi（モコナビ）に搭載された高機能セキュアブラウザです。

Chromium※をベースに開発されており、Google ChromeやMicrosoft Edgeに似た見た目と操作性を実現しています。

高いセキュリティ機能を搭載し、ゼロトラスト・セキュリティに対応したブラウザとして、より安全なブラウジング環境を提供します。

利用アプリを集約できるmocochoホーム画面



クラウドサービスへ簡単アクセス

万全のセキュリティ機能を標準搭載

利用アプリケーションの制限



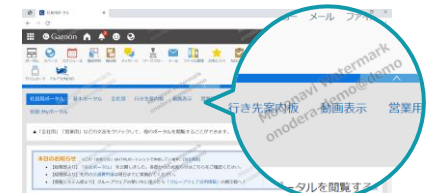
- ブックマークの利用可否制御
- URL入力欄の利用可否制御
- 画面キャプチャ・コピー・ダウンロード可否制御

ダウンロードファイルの無害化



- 無害化してダウンロード

ウォーターマークの表示



- ウォーターマーク(電子透かし)で画面キャプチャ抑止

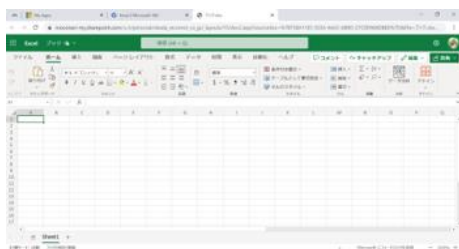
※・・・Chromium：フリーかつオープンソースのウェブブラウザ向けのコードベース

Officeファイルの編集も安心

mocochroはデータを残さずに編集できる2つのOfficeファイルの編集機能を提供しています。
また、PCローカルへのデータ保存を制御できるため、使いやすさとセキュリティの両軸を兼ね備えています。

2通りのOfficeファイル編集機能

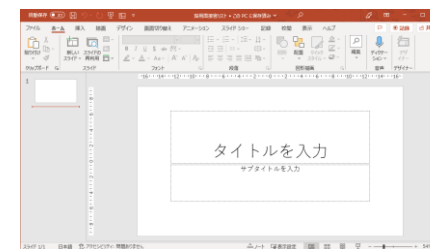
Webアプリを用いた ファイル編集



- ブラウザ上で編集できるので安心



ローカルSandboxを用いた ファイル編集



- サンドボックス内で編集できる
- 開いたファイルがウイルス感染していてもOSに影響がない
- サンドボックス内で編集したデータをmoconavi内のファイルサーバに転送できる

無料トライアル実施中！

最大30日間・20ユーザーまでの
無料トライアルをご用意しています。
お客様のシステム環境で実際にお試しいただけます。



サポートも充実！

トライアル中のQAや接続できないといった
トラブルシューティングは
**お客様専任の
トライアルサポートチーム**が対応します。



ABOUT US

会社名	株式会社レコモット(英語表記：recomot Inc.)
設立年月日	2005年11月
資本金	100,000,000円
所在地	〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-3-8 麹町センタープレイス 8F
事業内容	(1) 携帯電話関連製品の開発・販売・運用 (2) コミュニケーション関連システムの受託開発 (3) 電気通信事業 届出番号：A-30-16513
役員構成	代表取締役CEO 東郷 剛 取締役CFO 竹岡 昌宏 取締役CTO 吉田 周平 取締役 高橋 史匡 取締役（非常勤） 佐々木 浩二 監査役 柄澤 和浩 監査役（非常勤） 山本 修一



ご不明な点やご質問・ご相談がございましたら
お気軽にご連絡ください。



03-4446-5007 (平日10:00~18:00)



<https://moconavi.jp/inquiry/>



<https://moconavi.jp/>

